

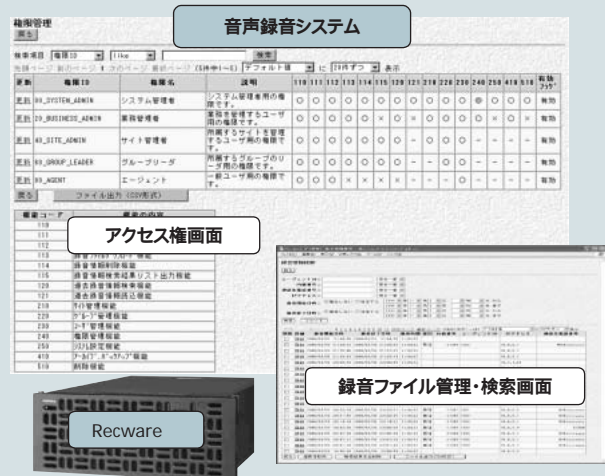
音声録音システム「Recware II」のCSRへの活用

企業がCSR(Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任)を果たすうえで、文書・電子メールの記録・管理に加え、顧客対応の電話や対面カウンターでの会話といった音声の記録・管理・活用が注目されている。

「Recware II」はそうした企業のニーズに応え、音声録音によるCSRへの活用も実現した。

製品の特徴

- (1) 複数拠点の音声録音情報をサーバに一元管理することにより、情報検索、情報の透明性を実現することができ、企業統治に活用できる。
- (2) 音声録音情報への5階層のアクセス権や、所属する組織(グループ)情報により、録音情報に含まれる個人情報の保護対策が可能となる。
- (3) 音声録音情報のアプリケーション連携用(音声認識・感情分析など)インタフェース(SDK : Software Development Kit)を提供することで、内部統制や顧客ニーズの分析などへの多様な活用ができる。



「Recware II」(左下) が提供するサーバ管理機能の画面例

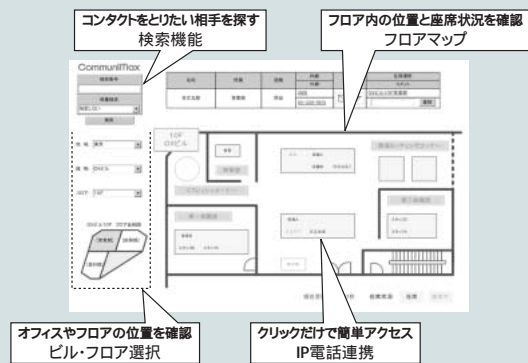
【お問い合わせ】
日立情報通信エンジニアリング株式会社
ソリューション拡販推進部 担当：藤森
Tel : 03-5435-7650 <http://www.hitachi-jten.co.jp/>

ワークスタイル改革を支える在席管理ソリューション

在席管理ソリューションは、座席表示ソフトウェア「座席ナビ」をベースとした最新ソリューションである。従業員がコミュニケーションを効率的に行い、知的生産性を向上するには、誰がどこにいるのかを把握することが重要になる。「座席ナビ」は、フリーアドレスで在席状況を正確に把握することができるほか、オフィスフロアが複数ある企業、社内ネットワークで接続された支店が全国に点在する企業などにおいて、社員のプレゼンスを確認するのに有効である。

製品の特徴

- (1) 利用者がPCをLAN(Local Area Network)に接続するだけで、座席位置を検出し、在席状態を表示する。リアルタイムに在席 / 離席 / 不在状態を把握できる。場所を移動してもPCをLANに接続すれば在席状態の表示も自動変更される。
- (2) 使いやすいWeb環境を採用しており、WebブラウザでURL(Uniform Resource Locator)を入力するだけで簡単に利用することができる。
- (3) 社員情報を管理しているディレクトリシステム(LDAP



座席表示ソフトウェア「座席ナビ」の機能

- (Lightweight Directory Access Protocol)サーバなど)と連携し、必要な社員情報と在席状態を同時に表示する。
- (4) シンクライアント(日立セキュリティPC)にも対応する。
- (5) 相手の在席状態を確認し、ワンクリックでメールやIP電話を起動できる。適切なコミュニケーション手段を選択できるため、業務効率が向上する。

【お問い合わせ】
日立製作所 情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部
<https://www3.hitachi.co.jp/inquiry/it/network/jp/form.jsp>
<http://www.hitachi.co.jp/ipit/>